

FAX通信の役目は毎日の仕事に追われる会員の皆様が変わって全国の新しい話題、行事等を実際に行って見て目や耳で確かめて、会員の皆様にお届けし、夢や希望、連帯感を作るお役に立てればと考えて努力いたしております。この記事をご覧になって「あれはいい是非会議所でやってくれ!!市役所はやる気があるか?」と聞かれますが・・・判断され実行されるのは会員、商店会等の皆様であり市や会議所は支援をする事が役目と考えております。

先日、テレビニュース等で評判のB級グルメ日本一決戦の厚木大会を見聞して参りました。B級グルメとは全国各地のおいしい郷土料理、名物料理を全国B1グランプリとして地域おこしの相乗効果にしようと「八戸せんべい汁研究所」の呼びかけによって始まったものです。

第1・2回は06年から静岡県富士宮市で始まり、かの有名な「富士宮焼きそば」が連続してグランプリを獲得してB級グルメの大ブームを起しました。第3回のグランプリは厚木市の「シロコロホルモン」!生の豚の大腸をぶつ切りにして、ニンニク味噌だれに漬けて網で焼き、焼き方も豪快です。第4回グランプリは秋田県横手焼きそば・・・もちもちでツルツとした食感の太い角麺に、豚のひき肉、キャベツを入れ、秘伝のだし入りソースに半熟の目玉焼き、福神漬を添え、これがまた良く合っただけでなく、グランプリを取りました。第5回は「甲府の鳥もつ煮」に決まったと昨夜のニュースが報じておりました。



始めは30万人と予想された観客は、厚木市人口22万人のキャパシティに凡そ44万人が押し寄せたものですから、折からの残暑に救急車が何台もの大混雑振りでした。

私達と別れて富士宮焼きそばに並んだ人達は1時間半かかったと嘆いておりました。

会場は第1会場ヨーカ堂駐車場、第2会場中央公園、第3会場運動場と分かれ、タクシーも来ないコースで帰りは駐車場まで猛暑の中30分、私も体力の限界を超えておりました。

出店者は全国から25県43店、神奈川県内から協賛出店35店、100円券10枚のチケットを買って入場し、グランプリ投票は食べた箸1人1膳、最後は箸の総重量で選出する方法で、優勝店には金の箸トロフィーが贈られます。優勝するとその地域(市)の経済効果は400億円を超えと言われております。神奈川県は松沢知事、近隣市町長を始め、市上げて参加されており、今年グランプリの甲府は全市上げて応援されている気配が感じられました。

目に付いたのは北海道、東北勢が多く参加され大活躍でした。北の人々は発祥の地の面目をこの日本一のグルメになる事によって、不況、デフレの地方の救世主となる事に懸命な努力をされている事に感銘を受けました。

君津の市議会の方々も研修に来られていたと聞きました。

私のまちにも「小さな旅、遠くへ行きたい」で放映された「平山駅のやきそば」があり、小糸在来、自然薯、酒、味噌、豆腐、名水、養鶏、牛等と素材には名品珍品が沢山ございます。市長さんがいつも言われます「君津のブランド商品」を作れば、君津はもっと元気で豊かになる・・・と。競争社会の経済界では待っていても与えてくれません。

このFAX通信からの情報を少しでも生かされたら、ご自身で意思決定され行動して下さいれば幸いです。議論をしては遅くなります。来年の産業フェアには市内外のグルメ大会を開きたいものです。

日本経済が今不調なのは、経済が超スピードなのに国家の意思決定が遅いからであります。次の選挙にどうしたら勝てるかが政治の課題の中心となり、世論追従型の政策となって、先見性がなくなるからであります。

(22.09.18)